

北平、在支各總領事へ轉電セリ

205 昭和12年7月3日 在中国日高臨時代理大使より
広田外務大臣宛(電報)

日滿独航空連絡の時期尚早な状況および日中
航空連絡に対する中国側の熱意なき対応振り
につき報告

南京 7月3日後発
本省 7月4日前着

第四七〇號

貴電第七六號ニ關シ(日滿獨航空問題ニ關スル件)

日支航空問題ニ關シテハ本官着任早々機ヲ見テ各方面ノ意
嚮ヲ當リ見タルモ一向手應ナキ次第ハ上海發往電第二八一
號報告ノ通りナル處冒頭貴電御訓令接到後先ツ歐亞聯絡問
題ニ關スル關係方面ノ情勢竝ニ意嚮ヲ探ルコト肝要ト思考
セラレタルニ付六月十一日上海ニ於テ李景樞ニ當リ見タル
處「ルフトハンザ」機飛來問題ニ關スル應答振(上海發往
電第三七〇號)其ノ他ニ徴シ歐亞聯絡ニ關スル日滿獨ノ話
合ニ關シ承知シ居ラサル様見受ケラルル一方歐亞公司ニ於

2 中国関税問題

206 昭和11年1月23日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

輸入税率引上げを検討中であるが日本側が密
輸入防止に協力するならば引上げ中止を考慮
するとの孔祥熙内話について

南京 1月23日後発
本省 1月24日前着

第三九號

往電第二二號ニ關シ

二十三日孔祥熙ニ對シ從來ノ我方主張ヲ繰返スト共ニ輸入
税モ禁止の高率ニ達シ居リ此ノ上ノ引上ハ稅收ヲ却テ激減
セシムル次第ヲ述ヘタルニ孔ハ實ハ貴方再三ノ申入モアリ
今日迄引上實行ヲ差控ヘタルモ事實增收ノ爲大體三月頃ヨ
リ實施ノ外無カルヘキカ時期ハ實ノ所未定ナルモ若シ日本
側ニ於テ密輸入防止ニ付御協力セラルルニ於テハ考慮ノ餘
地アリトテ例ニ依リ砂糖、人絹、紙類等ノ大量密輸北支ヨ
リ公然行ハレ居レリト實例ヲ述ヘ居タルカ本官ヨリ從來ノ

テ最近北平、香港線開設等ニ氣ヲ強クセルモノカ歐亞乃至
福岡・上海間ノ聯絡問題ニ付テモ一向氣乗スル模様ナク又
獨逸參事官トノ會談(往電第四一九號)ニ於テモ獨逸出先官
憲ハ本件ニ關シ餘リ知ル所ナキ様見受ケラレ右ノ點ハ更ニ
確メ度ク存シ居ルモ此ノ際は等方面ト相呼應シ支那側トノ
間ニ本問題ニ關スル話合ヲ爲スハ時機尙早ト認メラル
福岡・上海線ニ關シテハ前記李ニ對スル外其ノ後高宗武
(六月十七日)及徐謨(六月二十六日)(三十日發往電第四四
〇號)ニ對シ從來ノ經過ヲ追ヒ此ノ際本件協約締結方協議
スルコトハ北支ニ關聯スル問題ノ解決ニ資スル所アルヘキ
ヲ匂ハセ種々探リヲ入レ見タル處高ハ單ニ研究スヘシト答
ヘ一向氣乗リセス徐謨ハ例ニ依リ理窟ヲ竝ヘテ耳ヲ傾ケサ
ル有様ナリ
最近支那側ノ態度ハ各種懸案ヲ解決シテ日支ノ國交改善ニ
資スル熱意ヲ缺クヤニ認メラル本件ニ關シ最モ利害ヲ有ス
ル李スラ前記ノ如キ消極的態度ヲ示ス有様ナレハ更ニ先方
ト接觸シ徐々ニ開談ノ機ヲ窺ヒ居ル次第ナリ
以上今日迄ノ經過不取敢
上海へ轉電セリ

通り應酬シ日本カ最近十割ノ寶石稅ヲ一割ニ減セル爲稅收
却テ増加シタル例等ヲモ舉ケ引上ノ愚策ナル所以ヲ說キ日
支關係左ナキタニ面白カラサル此ノ際は是非共思止マル様念
ヲ押シ置キタリ
支、北平、天津、青島、濟南、漢口、廣東、厦門、福州へ
轉電セリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

207 昭和11年1月30日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

中国関税収入の減少は内外債支払いにも不足
するほどで輸入税率引上げが不可避との海關
關係筋よりの情報について

上海 1月30日後発
本省 1月30日夜着

第五八號

商務官カ海關方面ノ確カナル筋(客年十二月九日附商務官
發貴大臣宛商機密第三八六號等ト同一ノ筋)ヨリ得タル情
報ニ依レハ本年一月ノ關稅收入ハ内外債支拂等ノ支出ニモ

不足シ一月ニ入りテヨリ既ニ grant from ministry トシテ中央銀行ヨリ七百萬及五百萬ノ二口合計一千二百萬元ヲ借入セルカ(一月ニ支拂ハルヘキ元利拂カ殊ニ多キ爲モアルヘシ)斯ル狀況ニテハ

(イ)内債ノ利下及期限延長ハ不可避ナルヤニ觀測セラレ又
(ロ)三月ヨリ實施セラルヘシト稱セラレ居ル輸出税、轉口税ノ減免モ同時ニ輸入税ノ増率ナキ限り事實上不可能ナルヘシト觀測セラル

尤モ右(イ)(ロ)共財政部側ノ計畫等ヲ自分カ承知シ居ル譯ニアラスシテ私見ニ過キス云々トノコトナリシ由
(出所及數字等發表セサルコトト致度シ)

南京、北平、天津へ轉電セリ

208 昭和11年2月6日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

孔祥熙が輸入税率引上げ案の放棄に至った背景に関する情報について

南京 2月6日夜発
本省 2月6日夜着

209 昭和11年3月19日 在天津川越總領事より
広田外務大臣宛(電報)

中国政府が砂糖や人絹の輸入税率引下げを決定したとの情報について

天津 3月19日後発
本省 3月19日夜着

第一〇五號

本官發支宛電報

第一三號

當地三井支店長ノ極秘内話ニ依レハ十九日上海ヨリ最近南京政府税制改正委員會ハ大絹、砂糖及海產物ノ輸入税ヲ引下クルコトニ決シタルモ税率、實施期等ハ不明ナリトノ入電アリタリトノコトナルカ真相相御回示アリ度シ
上海へ轉報アリタシ

210 昭和11年3月20日 在中国有田大使より
広田外務大臣宛(電報)

孔祥熙が輸入税率の調整を計画中との総稅務司署カボンの内報に關し対応策具申

第九四號

往電第三九號ニ關シ

今般本官上海出張中「ピール」ハ英國側ノ得タル情報ニ依レハ支那側ニ於テハ輸入税引上ヲ最近實行スヘキ趣語レル次第モアリ本六日孔祥熙ニ對シ更ニ注意ヲ喚起シタルニ孔ハ立法院方面ニテハ引上ヲ主張シ居ルモ稅收ハ續減スル一方ニテ此ノ上ノ引上ハ更ニ減收ヲ來スヘシト思ハルルニ付當事者タル自分トシテハ今ノ所引上反對ニ傾キ居リト答ヘ居タリ

同日別ニ許建屏ハ本官ニ對シ極秘ノ含ヲ以テ過般來「リースロス」ハ北方旅行ノ印象トシテ同方面ニ於ケル密輸ノ狀態ヲ述ヘ此ノ上ノ關稅引上ハ益々現狀ヲ惡化セシムヘキニ付却テ日本側ニ實狀ヲ訴ヘ密輸防止ニ協力方ヲ依頼スルコト肝要ナリト提言シ孔祥熙モ持論ヲ變ヘツツアリト述ヘ居タリ

支、北平、在支各總領事、厦門へ轉電セリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

上海 3月20日前發
本省 3月20日前着

第二〇四號(極秘)

本使發南京宛電報

第八八號

有田大使へ堀内ヨリ

「カボン」ハ岸本ニ對シ自分(カ)カ「メーヅ」ト共ニ孔祥熙ニ會見ノ際(往電第八七號)孔ヨリ關稅收入減少ノ對策トシテ成ルヘク速ニ現行輸入税率ヲ「リアジャスト」スル考(主トシテ從量稅品ニ比シ低率ナル從價稅品ノ税率ヲ引上クル考ナルカ如シ)ナルニ付至急之ヲ立案スヘキ旨ヲ自分等ニ命シタリ自分ヨリ右ヲ内報セルコトハ勿論政府ニ關稅引上ノ意思アルコトモ之ヲ外部ニ洩ラサルルコトハ絕對差控ヘラレ度キモ孔ニ於テ先日本官ヨリ指摘セル次第モアリ日本側ノ輸入税率ニ關スル要求ニ對シテハ適宜考慮ヲ加フルコト然ルヘキ旨述ヘ居タルコトニモアリ岸本ヨリ自分(カ)ニ日本側ノ希望セラルル所ヲ内報アラハ適當ノ方法ニ依リ之カ實現ニ盡力スヘシト内話セル趣ナリ
支那側カ如何ナル改正引上ヲ企圖スルヤ更ニ探查ヲ進ムル

ト共ニ「カ」ノ内報ヲ「コート」セスシテ本件ニ言及シ得ル適當ノ機會(例ヘハ孔自身カ改正ノ計畫ヲ勾ハセタル機會等)ニ孔ニ對シ我方ノ立場ヲ尊重方釘ヲ打ち置ク要アルヘキハ勿論ノ儀乍ラ本件改正ハ早速ニ實現スルヤモ測リ難キニ付岸本限リノ建前ニテ岸本カ從來承知シ居タル所ニ依レハ日本側ノ希望スル品目及引下率ハ斯々ナリトテ昭和八年當時ノ要求品目ニ其ノ後ノ陳情等ヲ考慮ニ入レ適宜増減ヲ加ヘタルモノヲ「カ」ニ内示セシムル所存ナリ(本件絶對極秘トセラレタシ)

大臣へ轉電セリ

211 昭和11年3月21日

在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

密輸関連品目の輸入税率引下げなど中国政府
が税率調整を検討中との鄒琳財政部政務次長
内話について

南京 3月21日後発

本省 3月21日夜着

第二五五號

212 昭和11年4月8日

在南京須磨總領事より
有田外務大臣宛(電報)

輸入税率引下げおよび関税協定設定に関し孔
祥熙と意見交換について

南京 4月8日夜発

本省 4月8日夜着

第二九四號
往電第二五五號ニ關シ

本八日孔祥熙ハ本官ニ對シ輸入税引下方ニ付テハ其ノ後モ
研究中ナルカ一應ノ結論トシテハ引下ヲ行フニモ日本側ト
協議スルコト必要ナレハ先ツ日本側ノ具体案ヲ承知シタル
上ニテ立案スル積リナリト前提シ實ハ税則委員會並ニ立法
院方面ニ於テ税率引下ノ目的ハ密輸ノ防止ナリトセハ引下
モ際限無カルヘキヲ以テ輸入税ハ顧ミサルコトトシ別ニ統
稅ヲ課スルコトトセハ稅收モ増シ密輸モ防止シ得テ一舉兩
得ナリトノ議論出テ居ル程ナルカ自分ニ於テハ先ツ日本側
ト協定ヲ遂クルニアラスムハ右ハ空論ニ終ルヘシト應酬シ
居ル次第ナリト述ヘタルニ付

本官ヨリ密輸ハ如何ニモ日本側ノ手加減ニテ取止メラルル

(1) 往電第九四號ニ關シ

二月六日孔祥熙ト會談ノ際北支ノミナラス支那全般ニ亘リ
密輸ノ激増シツアルハ輸入税ノ禁止の高率ナルニ原因ス
ル事實ヲ表ニテ示シタルモノヲ孔ニ手交シ置キタル處天津
發支宛電報第一三號ノ次第モアリ本二十日鄒琳ニ其ノ後ノ
成行ヲ質シタルニ鄒ハ實ハ孔ヨリ前記ノ表ヲ參考トシテ輸
入税ノ調整方ヲ命セラレ税則委員會幹事ト共ニ目下折角研
究中ニテ結局人絹、砂糖ニ付テハ相當率ヲ引下ケ

海產物ニ付テハ極メテ少率ノ引下ヲ行ヒ六箇月乃至一箇年
位ヲ期限トシテ試験的ニ改正シ見ントノ議ニ傾キ其ノ引下
率ニ付合議中ナルカ一方機械、藥品類ノ如キ密輸ト關係深
カラサルモノハ多少引上クル方得策ナルヘシトノ意見モア
リ何レニセヨ客年來ノ輸入税全般引上ノ計畫ハ先ツ拋棄シ
タル譯ナリト答ヘタルニ付本官ヨリ然ラハ近ク日本側ノ希
望スル引下ヲ表ニ作成内示スヘキ旨告ケ置キタリ

支、北平、在支各總領事、厦門へ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

様誤解シ居ルカ如キモ高率關稅カ主タル素因ナルコト常ニ
説明ノ通ナレハ日本側ト協議セントスル意思アラハ先ツ日
本ト協定税率ヲ恢復スルコト得策ナリト述ヘタルニ孔ハ客
月二十日夜閣下ヨリ協定税率設定方ノ話アリタル際多少誤
解ノ點モアリシカ如ク(宴會後張群ヨリ注意アリタリトテ
百方陳辯ニ努メ居タリ)如何ニモ自分ハ協定税率ニ全然反
對ナリト解セラレ居ルニアラスヤト懸念シ居ル旨ヲ述ヘ輸
入税引ニ關スル具體案ト共ニ協定税率案ニ付何等案ニテモ
アラハ先ツ右ニ付考ヘ度キ所存ナリト答ヘタリ

就テハ冒頭往電末段並ニ支發閣下宛電報第二〇六號ノ次第
モアリ輸入税引下ノ希望案並ニ協定税率案至急作成相成度
シ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

支、北平、在支各總領事、厦門へ轉電セリ

213 昭和11年4月22日

在天津川越總領事より
有田外務大臣宛(電報)

日本の中国輸入税率引下げ要求と華北密輸問
題を関連づけて論評した中国紙の記事内容に

天津 4月22日前発
本省 4月22日夜着

第一六〇號

二十一日ノ北京天津「タイムス」ハ其ノ社説ニ於テ海關行政ヲ中心トスル天津港ノ經濟機構ハ日本カ關稅率ノ一大引下ヲ確保セント決心セル爲脅威ヲ受ケツツアリトシテ密輸問題ノ影響及其ノ對策ヲ論シ居レルカ御參考迄其ノ要領左ノ通

冀東政府ノ出現以來注意スベキ事項ハ一切ノ支那ト外國トノ條約ヲ無視シテ北戴河其ノ他ノ地點デ莫大ノ日本貨物ガ陸揚セラレ冀東政府ガ之ニ對シ關稅ヲ徵收シ居ルコト、此ノ徵收金ニ對シ外國借款償却ノ爲ノ何等ノ手段ヲ講シ居ラサルコト及此ノ徵收金ノ支配ニ對シ何等ノ監督ノ行ハレザルコトデアアル然シ今日迄ノ事實ニ徵スルト此ノ事態ノ發展ハ單ニ稅關ノ威嚴又ハ外國借款償却保障ニ對スル脅威ト云フヨリモ寧ロ北支ト諸外國トノ合法的通商ニ對シ更ニ一層ノ脅威トナツテ居ル然ルニ日本新聞ノ報ズル所ニ依ルト冀察政務委員會デモ冀東政府ニ倣ヒ三月二十五日カラ大沽ノ

「日支互惠稅率問題ニ關聯スル日本特殊地位論」

南京 4月30日後発
本省 4月30日夜着

第三六〇號

本官發漢口宛電報

第一三號

貴電第六號ニ關シ

本官ヨリ孔祥熙ニ對シ從來累次密輸激增ハ高率關稅ノ爲ナル所以ヲ指摘シ輸入稅引下方力說シ來リ孔モ「リースロス」等ノ意見ニ基キ引下方考慮シ始メタル模様ニテ最近本官ニ對シ密輸取締ヲ條件トシテ日本側ノ意嚮ニ基キ關稅改正ヲ行フ用意アル旨ヲ仄シ居ル實情ニテ我方トシテハ此ノ機會ヲ利用シ我方希望ノ引下率並ニ互惠協定案等ヲ提起シ間斷無く其ノ實行ヲ迫ル所存ナル處未タ正式且具體的ノ話合迄ハ進ミ居ラサル次第ナリ但シ二十二日財政部側ヨリ出テタル情報ニ依レハ二十一日財政部當局ニ於テ人絹、砂糖及海產物ノ現行輸入稅率ヲ四割方引下クルコトトシ右ニ依リテ生スル收入減ハ何レ砂糖及人絹ニ對スル統稅徵收實施ニ依

南ニ當ル滄州及鹽山ニ滄州鹽山地方監視所ナルモノヲ開始シ日本品ヲ同地ニ陸揚セシメ其ノ稅金モ冀東側ノ課スル額ノ二分ノ一ニスルトノコトデアアル此ノ際支那政府ガ此ノ新事態ニ對シテ執リ得ル唯一ノ建設的方法ハ高率ナル輸入稅ヲ漸次低減シ國內ノ租稅制度ヲ改革シテ例ヘバ所得稅、相續稅ノ如キ直接稅ノ稅率ヲ引上ゲ關稅收入ノ減收ヲ補填スルコトデアアル此ノ改革ハ相當難事デハアルガ吾人ハ斯クスルニアラザレバ今日ノ密輸ハ止マナイモノト考ヘルノデア

ル云々

支、北平、在支各總領事ヘ轉電セリ

~~~~~

214 昭和11年4月30日 在南京須磨總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

中国側が輸入稅率調整の検討を開始した情勢  
を利用し稅率引下げおよび互惠稅率協定締結  
等わが方希望貫徹方努力中について

付記 昭和十一年五月二十八日付、在南京須磨總領事作成

リ補填方考慮スル旨決定セル趣ニモアリ(期日等未詳)今後  
共指導方ニ努ムヘキモ右不取敢  
支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ  
大臣、支、天津、青島ヘ轉電セリ

## (付記)

日支互惠稅率問題ニ關聯スル日本特殊地位論

昭和十一年五月二十八日

五月二十五日孔祥熙ト會談ノ際モ日支間諸問題解決方案中ノ一トシテ日支互惠稅率問題ニ觸レ之カ達成ノ見込ヲ問ヘルニ(要項ハ上海ヨリ既電)從來ハ所謂不平等條約一切ノ撤去ヲ見タル後ニアラサレハ考慮ノ余地ナシト爲セル態度ヲ一變シ目下支那側カ最モ苦痛トスル桎梏タル密輸及冀東政府問題等ヲ一括解決シ得ル北支問題辦法ニテモ案出セラルル際ハ互惠稅率問題モ大イニ考究シ得ヘシ。但シ支那カ最モ懼レ居ルハ日支間ニ此ノ種ノ協定ヲ遂ケンカ英米等ハ最惠國約款ニ依リ之ニ均霑スルコトナリ自然關稅ノ一般的引下ケニ異ナラサル事態ヲ醸スヘシト云ヘルニ對シ筆者ハ當座ノ思ヒ付トシテ左ノ二點ヲ高調セリ

(一)元來最惠國約款ナルモノハ通商自由ノ原則ニ基キテ適用セラレ來リタルモノナルモ今ヤ既ニ通商自由ノ事態ハ去リ各國共一氣ニ保護關稅ニ徹底シ出シタル今日ニ於テハ其ノ適用上大イニ變化ナカルヘカラス又日本カ支那トノ間ニ存スル特殊關係ヨリセハ假ニ今日モ適用セラルヘキ最惠國約款中ニ於テハ日本ハ更ニ特別ナル地位ヲ保障セラルヘキモノナリ謂ハハ最惠國トイフハ特殊關係ニ在ル日本コソ支那ニ對シ The Most Favoured Nation ニシテ要スルニ最惠國中ノ最タルモノナリトノ現實ニ即スル内密ノ了解ニテ日支間限リノ互惠稅率ヲ設ケ得ヘシ。右ニ付假ニ多少ノ疑問ハアリトスルモ從來ノ解釋學上ノモノニ過キス實際上ノ變遷ニ顧レハ何等差支アリ得ヘキモノニアラス

(二)解釋上等學理的理論ハ如何ニモアレ日本ト支那トノ特殊關係ハ政治的ニ大イニ檢討スルヲ要シ例ヘハ日本ハ大ナル犧牲ヲ忍ヒテ大海軍大陸軍ヲ具有シ居レハコソ支那ハ列國ノ侵略ヲ免レ居ル嚴然タル事業ハ支那タルモノ之ヲ明カニ認識シ日本ハ所謂東亞ノ「スタビライジング」、ファクター」タリト自他共ニ許ス所以ハ茲ニ在ルニ想到セハ

## 第三五五號

往電第三五二號及南京發閣下宛電報第四〇一號ニ關シ  
本二十三日各漢字紙所報ニ依レハ上海市商會、地方協會、銀行公會、錢業協會ノ當地一流四團體ハ連名ニテ二十二日行政院長、財政部長、實業部長宛政府ノ關稅ヲ減低セストノ主張ヲ一致擁護スル旨及中央政治會議々決ニ密輸懲罰暫行條令ノ嚴密執行ヲ望ム旨電請セル趣ナリ  
北平、在支各總領事、厦門、香港ニ轉電シ、上海ヘ轉報セリ

216 昭和11年6月16日

有田外務大臣より  
在中国若杉臨時代理大使宛(電報)

中国輸入稅率引下げ問題および華北海關收入  
の冀察政務委員會への移讓問題に関するリ  
ス・ロスとの意見交換について

本省 6月16日後8時発

## 第一四二號(極秘)

九日本大臣「リースロス」ト會談ノ際北支ノ事態改善ニ關聯シ本大臣ヨリ(イ)北支海關收入ノ冀察政委會移讓並ニ(ロ)支

日本ノミニ互惠稅率ヲ適用セリトテ何等ノ不都合アリ得ヘカラス

(右ノ一點殊ニ第二點等ニ付テハ別ニ詳論スルノ要アルモ要スルニ筆者ハ居常日本外交ハ所謂滿潮ノ浸潤ニシテ

(1)人口増加ニ伴フ海外進出

(2)日本工業化ニ關スル背後地域ノ擴張

(3)東亞ニ於ケル外國勢力ノ排除

ノ三點ニ基礎スヘシト爲ス信念ニ基クモノナリ)

孔ハ當日何時ニ無ク素直ニ右ノ縷述ヲ聽キ居タリ

尤モ右ハ筆者カ歸朝直前ナル爲特ニ惡印象ヲ與ヘマシト努メタルニ依ル所大ナルヘキハ勿論ナリ

215 昭和11年5月23日

在中国若杉臨時代理大使より  
有田外務大臣宛(電報)

上海市商會や銀行公會などが政府要路に対し  
關稅率低減反對と密輸の嚴重取締を要望した  
との新聞報道について

上海 5月23日前発  
本省 5月23日夜着

那關稅引下ノ必要ヲ述ヘタル處右ニ關シ「リ」ハ十一日堀内次官ニ對シ質問セルヲ以テ次官ヨリ(イ)河北省海關收入中ヨリ外債負擔部分及海關經費ヲ控除セル殘額ヲ直接冀察側ニ交付スルノ意味ナル旨説明セルニ「リ」ハ海關收入ハ中央ニ送付スルモノニシテ直接地方政權ニ交付スルハ海關制度ノ破壞ナリト言ヘリ依テ次官ヨリ日本ハ海關自体ノ接收ニハ反對ナルカ「シムプソン」事件ニ際シ英國側ハ改組派ノ海關獨立ヲ默過セル經緯アリト應酬シ更ニ爲念中央カ約束通リニ冀察ニ對シ關餘月額百萬元ヲ送付シ居ラサル事情ヲモ說示シ置ケリ

又(ロ)ニ付テハ「リ」ハ自分モ孔祥熙ニ勸メタルコトアリ孔ハ最初ハ反對ノ意向ヲ示セルモ自分ヨリ説得ノ結果或ルモノハ引下ケ或ルモノハ引上クル如キ趣旨ノ調整ナラハ考慮スヘシト折レ來レリ自分ハ稅收ヲ減少セシメサル建前ノ下ニ先ツ特別ノ委員會ヲ設ケ支那人ノ外「メーズ」岸本等ヲモ加ヘテ稅率ヲ調査セシメ日本品ニ都合良キ改訂ヲ加ヘシムレハ可ナルヘシトノ私案ヲ有スル旨述ヘタルヲ以テ次官ヨリ支那ノ對日「デエスチュア」トシテ支那側ヨリ進ムテ右様ノ措置ヲ執ル様勸獎セラレテハ如何ト言ヘルニ「リ」

ハ其ノ通スヘキ旨答ヘタル趣ナリ(「リ」ハ大藏大臣ト會見ノ際ニモ右ノ如キ日英支人ノ混合委員會ノ如キモノヲシテ税率改訂ヲ研究セシムル考案ヲ述ヘタル趣ナリ尤モ右委員會ト稅則委員會トノ關係等ハ一切詳カナラス)

南京、北平、天津ニ轉電セリ

217 昭和11年6月17日 在中国若杉臨時代理大使より  
有田外務大臣宛(電報)

日華貿易協會の主唱により日中民間ベースで中国關稅率改訂の具体案作成協議開始について

上海 6月17日後発  
本省 6月17日夜着

第四五三號(極秘?)

日華貿易協會ヲ中心トシ日支民間ニ於テ支那稅率ノ引下ニ付協議ヲ進メテハ如何カトノ議アリ先日兒玉會長ヨリ東亞局長及磯谷局長ノ了解ヲモ得タルニ付右促進方船津ニ申越セル趣ニシテ船津ハ之ヲ周作民ニ話シ置キタル處十五日南京ヨリ歸來セル周ノ話ニ依レハ周ヨリ吳鼎昌ニ話シタルニ吳ハ相當乘氣ニテ日本側民間トノ話合ヲ進メ具体案ヲ作ル

大使發往電第三六八號ニ關シ

本官上海出發前五月廿六日孔祥熙ハ係官(許及李)ヲ來訪セシメ互惠協定モ日本ノミノ輸入貨物ヲ按配シ得レハ日支間ニ復活スルコト不可能ニモアラスト申入レシメタル經緯ヲ辿リ歸任後直ニ十九日孔祥熙ニ對シ何レ我方互惠協定草案モ提出スヘキニ付日支關係正常化ノ一要點トシテ是非共考慮方申出テタルニ孔ハ輕ク領キ居タルカ其ノ際本官ヨリ關稅引下モ立消タルニアラサルヘシト言ヘルニ孔ハ研究ハシ見ルヘシト應酬シ居タル經緯アル處本廿二日絶對極秘ノ含ヲ以テ「ハウ」ハ本官ニ對シ「リースロス」ハ十九日來寧ノ際孔祥熙等ニ對シ日本側ハ高率關稅ヲ餘程氣ニシ居ルニ付率ハ兎ニ角「ジェスチュア」トシテモ此ノ際幾分引下クルノ要アルコトヲ強調セルニ孔ハ領キ早速立案セシムヘシト答ヘタル旨内話シ居タリ

支、北平、天津へ轉電セリ

219 昭和11年7月25日 在中国川越大使より  
有田外務大臣宛(電報)

日中民間での中国關稅率改訂案作成のため日

コト然ルヘシ但シ本件ハ孔祥熙ニ話セハ譯モ判ラスニ反對スヘキニ付當分ノ間孔祥熙其ノ他部外ニ對シ絶對極秘トセラレ度シトノ意嚮ナリシ趣ナリ尙右ノ次第ヲ船津ヨリ東京ニ電報セルニ對シ具體的引下希望案ヲ作成ノ上(本件ハ兒玉ヨリ三井及日清深尾等少數ノ者ニノミ相談シタル由)外務省ト協議シ油谷ヲ當地ニ派遣スヘキ旨返電アリタル趣ナルニ付堀内ヨリ船津ニ對シ各方面ノ希望ヲ容レテ尨大ナル案ヲ持來リテ支那側トノ話合ノ切懸ヲ失フカ如キコト無キ様注意シ置キタル趣ナリ

南京、北平、天津へ轉電セリ

218 昭和11年6月22日 在南京須磨總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

対日關係を考慮し輸入稅率の引下げを実施するようリース・ロスが孔祥熙を説得したとの情報について

南京 6月22日後発  
本省 6月22日夜着

第四四九號

本側より大使館作成の關係資料提出について

上海 7月25日後発  
本省 7月25日夜着

第五七四號(極秘扱)

貴電第一四六號ニ關シ(支那關稅引下民間運動ニ關スル件)油谷來滬後其ノ持參セル要求品目(當方ト協議ノ上多少修正セリ)ヲ周作民等ヲ通シ吳鼎昌ニ傳達セルニ吳ハ専門家(稅則委員會内ノ吳ノ部下ナルヘシ)ニ之カ研究ヲ依頼セル趣ナルカ更ニ二十三日吳來滬ノ際船津及油谷ニ對シ充分盡力方ヲ約スルト共ニ政府部内ニ説明ノ必要上高率關稅カ排日的ナルコトヲ詳細説明セル資料ノ提出方依頼セルニ付當方ニテ右資料ヲ作成シ廬山ニアル吳ニ轉達方取計ハシメ置キタリ

尙往電第四五三號ノ如ク吳部長等ハ本件話合ヲ今猶孔部長等ニ秘シ居リ右ハ吳部長ニ於テ張群等ト共ニ政府部内ヲ説得シ孔部長ニ押付ケントノ考ナルヤモ知レスト認メラルル趣ナリ(委細郵報)

南京、北平、天津へ轉電セリ

昭和11年7月28日 在南京須磨總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

# 中国政府による関税率改訂研究の開始および 孔祥熙の政府内部における立場に関する情報 について

南京 7月28日後発  
本省 7月28日夜着

## 第五三七號(極秘)

往電第五二八號ニ關シ

行政院側ノ内報ニ依レハ税率一般引下ニ付税率委員會研究ヲ開始シ周典主任トナリ引下率ヲ立案シ居ル一方關務署ニ於テ北支稅收ノ移讓問題ニ付孔祥熙訓令ニ基キ研究ヲ開始シ居ル趣ナル處(右案中英國側細手綿布ニモ相當ノ引下ヲ適用方考慮シ居リ「リースロス」ノ申出ニ依ル引下モ餘程含マレ居ル由)最近張群、吳鼎昌、熊式輝、楊永泰、翁文灝等カ一體トナリ孔ノ財政上ノ遣口ニ強硬ニ反對シ居ルコトヨリ最近二箇月内ニ數回孔、張間ニ激論サヘアリタル程ナルカ孔ハ蔣介石ト益々緊密ヲ加ヘタル最近ノ情勢ヲ利用シ一方宋子文、王正廷等ヲ操リ歐米側ト聯絡セシムルト共

## 第六〇二號(極秘)

往電第五八一號ニ關シ

極秘入手セル行政院側消息左ノ通

十八日廬山行政院會議ニ於テ孔祥熙ヨリ關稅增減案ヲ提出シタルカ右ニ依レハ從量稅(人造絹絲、麻類、砂糖(稅番三九六乃至四〇二)銅、海產物等十數種ヲ包含ス)ヲ遞減シ一年約九百六十萬元ノ減收トナル處各稅番ノ引下率ハ大体現稅率ノ二割ニシテ例ヘハ人絹ハ九六金單位ニ引下クルコトナル一方從價稅(特ニ機械類、化學製品等主トシテ歐米ヨリ輸入セラルルモノ)ヲ引上ケ年額約二千萬元ノ增收ヲ得ントスルモノナリ

吳鼎昌ハ右案ハ引下率日本ノ希望ニ合セス又引上部分ハ必スヤ歐米側ヨリ激シキ反對ヲ惹起スヘシトテ張公權ト共ニ反對シタル爲結局外交、財政、實業ノ三部ヨリ委員ヲ任命シ更ニ技術的討議ヲ重ヌルト共ニ他方吳ヨリ非公式ニ川越大使ニ對シ日本側引下希望案ヲ聴取セシムルコトトナレリ

右案ハ孔祥熙カ提案シタルモノナルモ實ハ吳鼎昌カ曩ニ中日貿易協會ノ名義ヲ以テ孔ニ回付セルモノヲ基礎トシ

ニ他面對日關係事項ヲ出來得ル限り自分ノ手ニ依リ變ヘ度キ野心ヲ有シ居レハ税率引下及關稅移讓兩問題共旨ク孔ヲ操レハ或ハ結果ヲ得ヘク現ニ廿五日孔ハ上海ニ於テ王克敏ニ對シ北支財政上ノ辦法ハ孔ノ手ニ依リ解決スヘキ旨ヲ傳ヘタル程ナル様子ニテ右傾向ハ西南問題ノ解決以後益々顯著トナリ孔ハ此ノ際日本ヲ怒ラセヌ様延。若ニ行クコトトシ蔣介石、孔祥熙等ハ二中全會直後日本ニ對シテハ親日ニアラス排日ニアラス措。日政策ヲ以テ進ムヘシト打合ハセタリト云フ從テ張群カ最近對日問題ニ乘氣トナリ出シタルハ右孔ニ對スル張合モ相當アルヘシト觀測セラル

支、北平、天津ヘ轉電セリ

221 昭和11年8月25日

在南京須磨總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

孔祥熙が行政院會議に提出した關稅改訂案は  
吳鼎昌らの反対により技術的討議を繼續する  
こととなったとの情報について

南京 8月25日後発  
本省 8月25日夜着

タル財政部案ナル處孔ハ張群、吳鼎昌、張公權等ノ手ニ依ラス關稅率ノ増減ハ勿論將來日支間ニ行ハルヘキ討議ノ大体ニ付自ラ主動的ニ働ク希望ニテ立案シタルモノナルカ故ニ成ルヘク右此ノ際沽券ヲ爭ハス吳、張群、張公權等ハ前記委員會ニテ右案ニ基ク成案ヲ得度キ心組ナルカ先ツ二、三個月ヲ要スヘキ見込ナリ

支、北平、天津ヘ轉電セリ

222 昭和11年8月27日

在南京須磨總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

日本側の希望を容れた關稅率改訂を考慮中で  
はあるが実現には相当の困難がある旨張群内  
話について

南京 8月27日前発  
本省 8月27日夜着

## 第六一三號(極秘)

往電第六〇二號ニ關シ

本二十六日張群ヨリ本官ニ對シ廬山ニ於テモ日本側ノ希望ヲ容レタル關稅改正案ヲ考慮シタル次第ナルカ何レ結果ヲ

得ル迄ハ新聞等ニ此ノ點ニハ觸レラレサル様致度シト述ヘ其ノ際張ハ述懐的ニ自分等ノ主張ヲ認ムル者ノミ居ラス特ニ關稅問題ニハ機微ナル注意ヲ要スルモノアリトテ苦衷ヲ述ヘ居タリ

支、北平、天津へ轉電セリ

223 昭和11年8月31日 在中国川越大使より  
有田外務大臣宛(電報)

財政部による行政院會議への關稅率改訂案提出  
出經緯に關する王克敏内話について

上海 8月31日後發  
本省 8月31日後着

第六九八號(極秘)

南京發貴大臣宛電報第六〇二號ニ關シ

三十日本使王克敏ト會談ノ際王ハ或ル確ナル筋ヨリ得タル情報トシテ最近南京政府部内ニ於ケル關稅引下問題處理ノ經緯ニ付左ノ通り語レリ冒頭電ノ内容ト略符合スルニ付御參考迄

關稅引下案ハ去ル十二日ノ行政院會議ニ附議セラレ其ノ際

進めてゐることをほめかし成都事件に對するわが方要求の緩和を要望について

南京 9月2日後發  
本省 9月2日夜着

第六三七號

往電第六三六號ニ關シ

本二日ノ會見ニ於テ孔ハ日本側ノ成都事件要求緩和方ヲ再三歎願的態度ニテ述ヘタル上例ノ駁引根性ニテハ關稅引下ニ關シテハ既ニ立案ヲ終ヘ特ニ日本側關係品目ノ引下ニ力ヲ用ヒタリトテ往電第六〇二號ノ次第ヲ仄カセリ

ニ福州ニ於ケル中華滙業借款整理方ニ關聯シ中央カ支出スヘキ分ニ付テハ如何様ニモ考慮スヘキニ付至急陳ト整理契約ヲ成立セシメラレ度シ  
等述ヘ立テ成都事件ヲ值切ラントスル風ヲ見セ居タルハ支那ノ焦慮振ヲ見ル一例ト存ス爲念  
支、北平、天津へ轉電セリ

中日貿易協會ニテ作成シ吳鼎昌ヲ經テ提出セル引下案モ紹介セラレタルカ之ニ依レハ年約七千萬乃至八千萬元ノ關稅減收トナル見込ニテ財政部ニ於テハ右ト別個ノ案ヲ立テ大體年九百六十萬元位ノ減收ニテ喰止メ(其ノ内約六百萬元ハ日本關係商品ノ引下ニ依ルモノナリト云フ)之カ補填ノ爲ニハ主トシテ歐米ヨリ輸入スル機械類其ノ他ニ對シ稅率ヲ引上ケ年約一千萬元乃至二千萬元ヲ増加スル案ヲ提示シ當日ハ右財政部案ヲ外交、財政、實業、鐵道、交通ノ五部ノ合同審査ニ附スルコトヲ決定セルノミニテ散會セルカ越エテ十八日ノ行政院會議ニ於テ張群ハ右財政部案ヲ實行スルトキハ日本側ニテ多大ノ不滿ヲ感スルハ素ヨリ一方歐米側ニ於テハ痛烈ナル反對ヲ唱フヘク對外關係上面白カラストテ反對ノ意ヲ表シタル爲本件引下案ハ宙ニ迷ヒ當分何レトモ目鼻着カサル狀態ニ陷レリ

北平、南京、天津へ轉電セリ

224 昭和11年9月2日 在南京須磨總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

孔祥熙が日本側の希望を容れた關稅率改訂を

225 昭和11年12月12日 在南京須磨總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

輸入稅率改訂説を否定する財政部発表について

南京 12月12日後發  
本省 12月12日後着

第一〇二五號

支發閣下宛電報第九八一號ニ關シ

財政部責任者ハ巷間輸入稅率改正説傳ヘラルモ右ハ事實ニアラサル旨發表シ本十二日ノ各紙ニ掲載セラレ居レリ爲念

支、北平、天津へ轉電セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

226 昭和12年3月24日 在濟南有野(字)總領事より  
佐藤外務大臣宛(電報)

国内産業保護の観点から輸入稅率引下げに反對する新聞論調報告

濟南 3月24日後發  
本省 3月24日夜着

第四三號

二十三日當地民國日報ノ「關稅引下ニ反對ス」ナル社論要旨御參考迄左ノ通り

日本商品ハ世界各國ノ關稅障壁ニ阻マレ其ノ捌口ヲ支那ニ求メ居ル爲日本ハ支那ノ關稅引下ニ對シ重大ナル關心ヲ有シ居リ二年來ノ大規模ナル密輸ノ如キモ右目的ニ關聯シ居ルヤノ疑惑ヲ懷カシムルモノアリ今次經濟視察團渡支後日支双方意見交換ノ際ニ於テモ日本側ハ自然ト本問題ニ言及

セルカ吾人ハ關稅引下ハ支那ノ商工業ノ發達ヲ阻害シ財政收入ニ影響ヲ與フヘキヲ以テ右ハ不可能ナリト斷定スルモノナリ我商工業ノ繁榮ト財政ノ充實トハ日本ト何等利害衝突スルモノニアラス却テ兩國經濟合作ノ基礎ヲ鞏固ニスルモノナレハ若シ日本カ支那ト合作ノ誠意ヲ持タハ率先シテ支那ノ權益ヲ顧慮スヘキコトヲ希望スル次第ナリ云々

支、上海大使、北平、在支各總領事ヘ轉電セリ

3 日中經濟提携問題

227 昭和11年1月17日 在天津川越總領事より  
広田外務大臣宛(電報)

長蘆塩の対日輸出に関する宋哲元との交渉状況および具体的措置案について

天津 1月17日夜発  
本省 1月17日夜着

第一五號

貴電第四號ニ關シ

一、長蘆鹽ハ當方ノ奔走ニ依リ客年九月青島鹽並ノ税金ニテ輸出シ得ル様取運ヒ居リタルモ當時軍トノ話合ニ基キ時局一應ノ安定ヲ見ル迄停出セシ次第ナル處過般車ヨリ中日實業ノ宋哲元ニ對スル交渉ニ依リ青島並ノ税金ニテ輸出シ得ル様ナリタルニ付不取敢現在ノ貯鹽七十三萬噸中支那消費引當四十萬噸ヲ差引キ三十三萬噸ヲ限り輸出ヲ許スコトトセハ如何トノ相談アリ當方ハ豫テ三菱及岩井商店(大日本曹達工業)等實需者ヨリ依頼ノ次第モ有之、之ニ同意シ置キタルカ軍ハ右ニ基キ貴電第五號(後段ハ

當時相談無シ)ノ趣旨ニテ中央ヘ請訓セル趣ナリ

二、本件ハ軍カ中央ノ同意ヲ得レハ之カ處辦ハ當方ニテ取計フコトニ關係者ト當方係官トノ間ニ話合濟ナルカ其ノ賣捌方法ニ付テハ未タ具體案ヲ得サルモ製鹽業者、鹽商、購入者(實需者及仲買者)ノ立場及都合、其ノ他鹽務機關ノ干與ノ範圍、購入者多數ノ場合ニ於ケル港迄ノ搬運及配船關係等各般ノ點ニ亘リ充分考量ノ上最實際的ニシテ公平ナル方法ヲ攻究シツツアル次第ナリ

三、競賣ハ貴見ノ通り面白カラス本邦實需者間ニ一ノ組合ヲ作ラセルコト適當ナルヘシ(中日ヘハ此ノ組合ヨリ然ルヘク挨拶セシムル位ニテ宜シカラシカ)尙鹽ハ現ニ多數ノ製鹽業者及鹽商ノ手ニアリ從テ先ツ之ヲ適當ノ方法ニテ取纏メシムルノ要アリ何分ニモ輸出ハ初メテノコトニモアリ其ノ邊仲々面倒ナル問題アリタル譯ナリ

四、鹽運使ハ十七日宋派ノ戈定遠任命サレ居レルヲ以テ問題ナク旁稅關方面モ格別「トラブル」ヲ起ササルヘシト存セラル

五、滿洲側ノ參加ハ本件貯鹽處分ニハ關係ナク四月以降ノ新鹽即チ冀察政權將來ノ鹽務計畫(內需外需ニ亘ル)ニ關ス